

*この情報紙は市民からの公募による編集委員によって作成されています。
女性(Female)と男性(Male)がともに支え合い、対等な立場で社会(Society)を形成することを願って!!
2021年(令和3年)2月25日 第31号
企画課 男女共同参画室(内線2238)

日本の現状を見る 全てはコロナに繋がるのか…?

新型コロナウイルス感染症による、この1年間での様々な変化を数値から見てみましょう。

コロナ禍で女性が家事疲れ…

2020年4～6月に民間が実施した調査結果によると、**コロナ禍で増えた在宅時間**の中で女性の家事比率が増加したことが判明!

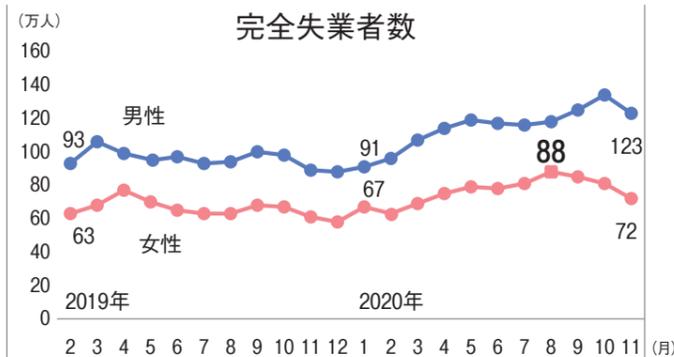


また、コロナ禍での「家事分担比率における男女の意識差」を見てみると…
夫視点 → 男性46:女性54
妻視点 → 男性24:女性76
このように大きなギャップが生まれています。

子どものいる家庭では、女性の育児負担による疲労は、コロナ前に比べて56.6% → 64.4%と増加しており、家事だけでなく育児による女性への負担も増加しています。



完全失業者数は、男女とも2020年4月以降、増加傾向

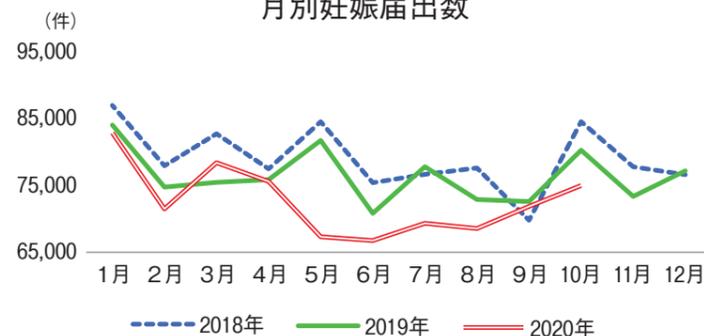


その中でも8月の女性の完全失業者数は、2015年10月以降で最多!

女性の自殺が増加

警察庁の統計によると、2020年の全国の自殺者の前年比較は次のとおり。
7月…2.6%増 8月…17.8%増 9月…10.0%増 10月…39.9%増
そうした中でも女性の自殺は、
8月…42.2%増 9月…21.7%増 10月…82.6%増
DV被害、育児の悩み、介護疲れなど様々な問題に加え、コロナの感染拡大による女性の雇用に関する諸問題が増加の要因になっていることが推察されます。

月別妊娠届出数



厚生労働省が発表した集計によると、自治体が1～10月に受理した妊娠届の件数は前年同期に比べて5.1%減少! 少子化加速か…?



命を守る「ゲートキーパー」

コロナによる先の見えない不安、これまでの当たり前が当たり前でなくなってしまったことによるストレス…
心理、社会的問題や生活上の問題、健康上の問題を抱えている人など、自殺の危険を抱えた人々に気づき適切にかかわるゲートキーパー。ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。皆さんも、自分の大切な人を守るため、まずは、声をかけることから始めてみませんか?

ゲートキーパーの心得

- 自ら相手とかかわるための心の準備をしましょう
- 温かみのある対応をしましょう
- 真剣に聴いているという姿勢を相手に伝えましょう
- 相手の話を否定せず、しっかりと聴きましょう
- 相手のこれまでの苦労をねぎらいましょう
- 心配していることを伝えましょう
- わかりやすく、かつゆっくりと話をしましょう
- 一緒に考えることが支援です
- 準備やスキルアップも大切です
- 自分が相談にのって困ったときのつなぎ先(相談窓口等)を知っておきましょう
- ゲートキーパー自身の健康管理、悩み相談も大切です

相談窓口

- ・こころの健康相談統一ダイヤル 0570-064-556 (電話をかけた所在地の公的な相談機関に接続します)
- ・いのちの電話 0120-783-556 (インターネット相談も行っています)
- ・チャイルドライン 0120-99-7777 (18歳までの子どもがかけられる電話です)

五所川原のこれまで・これからの取り組み

- ①**全ての新生児に給付金を支給**
市では、第3子以降の出生に対して子宝祝金10万円を支給していますが、コロナによる影響が数年に及ぶものと考え、令和3年4月2日～令和6年3月31日に生まれたすべての新生児にひとり10万円を支給します。なお、国の給付金の支給対象とならない令和2年4月28日以降に生まれたお子さんにも、ひとりにつき10万円を支給しています。
- ②**市職員ゲートキーパー研修全職員受講**
令和元年度から5年間かけて、市職員全員がゲートキーパー研修を受講するという取り組みを行っています。
- ③**五所川原市高齢者生活支援タクシー券の配布**
配布したタクシー券の利用期限は令和3年3月31日までとなっていますので忘れずにご利用ください!

コロナ禍でのみんなの生活の工夫



家族みんなでお家でお寿司パーティーをしました! お寿司握るのって楽しいですね

家の中でもできる簡単な運動をして、心も体もリフレッシュしています!

オンラインで遠く離れた友人とお喋り。こういう時だからこそオンラインを活用してみました!

編集後記

名はコロナとかわいいが、実にしつこい病魔である。感染防止のためこの年の大半が台無しになった。これまでの当たり前が当たり前でなくなってしまう、毎日の生活に少し疲れてしまっている人もいるのではないかとこの「さんかく」を読んでくれた皆さんに、より明るく過ごせる日々が訪れて欲しい。「手洗い・うがい・マスク」日常の予防に勝る策はなし。(K)

*** 編集:さんかく編集委員6名 ***